

# 市政を支える予算の構成

令和8年度予算は、令和7年度に引き続き「子ども・子育て支援」、「教育施策」および「防災・減災対策」に重点を置き、ふるさと納税を有効に活用するなど、必要な財源を確保しながら、重点的・効率的な配分としております。

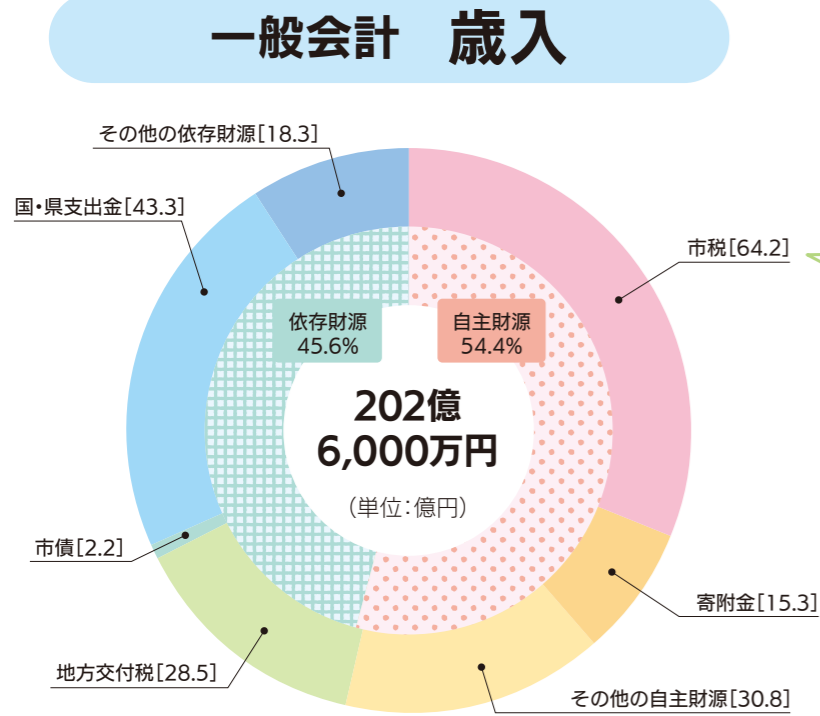
この予算特集では、市の予算規模をはじめお金などのように使われていくのかを、総合計画の分野別6項目に分けて作成しました。特に、「小学校給食費無償化事業」や「RSウイルスワクチン接種事業」「避難所業務のオンライン環境整備事業」などが令和8年度予算の注目ポイントとなります。

市の財政状況や事業をお知らせすることは、市民の皆さまと行政が協働したまちづくりを進めていくために、とても大切なことです。今回の特集が、皆さまにとって、市の財政や事業を身近に感じ、少しでも関心を持っていただくと嬉しく感じたいと思います。

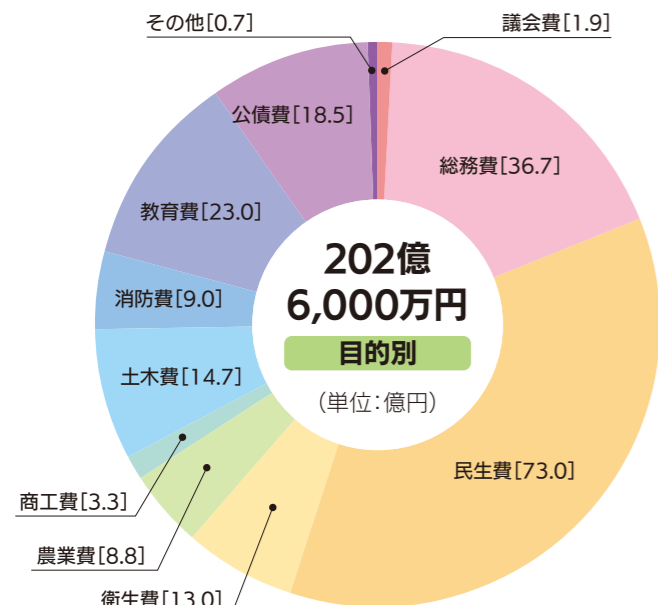
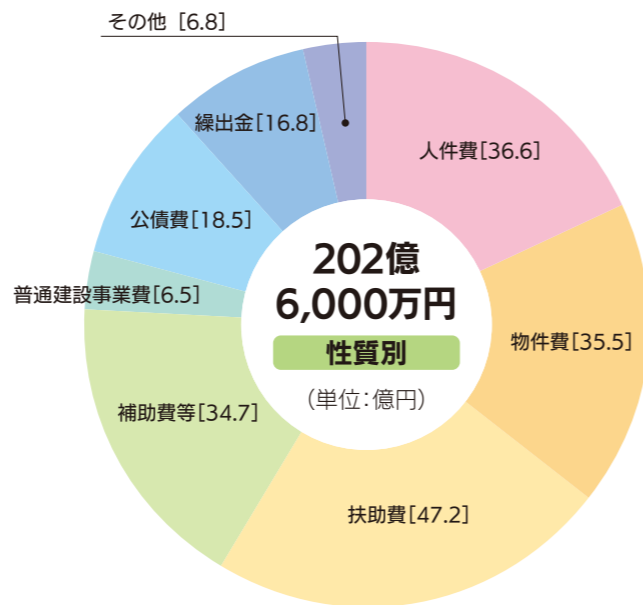
下妻市が将来にわたって活力と魅力あるまちとして発展し続けるために、子育て、教育、医療をはじめ、生活の利便性向上など様々な施策を展開し「下妻に住んでよかった」と実感できるまちづくりを目指して取り組んでまいります。

## 市税の内訳

市民税	29億9,292万円
固定資産税	29億2,859万円
軽自動車税	1億5,056万円
たばこ税	3億3,402万円
入湯税	1,350万円



## 一般会計 歳出



## 予算総括

会計名	令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
一般会計	202億6,000万円	200億5,000万円	2億1,000万円	1.0%
特別会計	97億970万円	96億4,920万円	6,050万円	0.6%
国民健康保険	46億6,400万円	47億3,100万円	▲6,700万円	▲1.4%
後期高齢者医療	7億7,700万円	6億7,500万円	1億200万円	15.1%
介護保険	42億5,100万円	42億2,700万円	2,400万円	0.6%
介護サービス事業	1,770万円	1,620万円	150万円	9.3%
企業会計	32億3,114万円	29億9,095万円	2億4,019万円	8.0%
水道事業	16億5,104万円	14億6,109万円	1億8,995万円	13.0%
下水道事業	15億8,010万円	15億2,986万円	5,024万円	3.3%
合計	332億84万円	326億9,015万円	5億1,069万円	1.6%

## 用語解説

### 歳入

自主財源：市が自主的に集めることができる財源のこと。  
 自主財源が多いほど行政活動の自主性と安定性を確保できます。

市税：市民税や固定資産税など  
 寄附金：ふるさと下妻寄附金など  
 依存財源：国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられたりする財源のこと。  
 国・県支出金：特定の目的のために国や県から交付されるお金  
 地方交付税：地方公共団体ごとの税収の差を調整するために国から配分されるお金  
 市債：市が施設や道路をつくるなど特定の目的のために、国や銀行等から借り入れるお金

### 歳出

性質別支出  
 人件費：議員の報酬や職員への給与など  
 物件費：光熱水費や消耗品費、通信運搬費、委託料など

目的別支出  
 議会費：議員の報酬や議会の運営など  
 総務費：庁舎や財産の維持管理、税金の徴収、戸籍管理等の経費など  
 民生費：高齢者や障害児者、子育て等の福祉サービスなど  
 衛生費：健康推進、疫病予防、環境対策、ごみ処理など  
 農業費：農林業の振興、農道整備など  
 商工費：商工業の振興や観光推進など  
 土木費：道路、河川、住宅、公園等の整備や維持管理など  
 消防費：火災や地震、風水害対策や消防施設の整備など  
 教育費：学校教育、社会教育、スポーツ振興など  
 公債費：借り入れた市債の返済にあてるお金